

# 平成27年度 南魚沼都市英語活動部 活動報告

部長 小菅 哲志

## 1 研究主題 喜びと楽しさを味わいながら学ぶ授業づくり

## 2 研究の概要

昨年度に引き続き、以下の2点について研修を進めた。

- ・南魚沼市学習指導センター主催の研修講座や教育講演会への参加による研修
- ・授業実践に向けた夏期研修会

## 3 研究の実際

### (1) 学習指導センターの研修講座への参加

南魚沼市学習指導センターが主催する5回の講座や教育講演会に、一人が2回以上参加することを目標に決めて取り組んだ。各研修に参加した部員からは、研修内容と感想を報告してもらった。

#### ① 小学校外国語活動・国際科「生き生きと活動する授業を目指して（基礎編パート1）」

＜参加部員からの報告＞

苦手意識が強い国際科の授業であるが、HRTである自分が、もう少しリラックスした気分で楽しみながら授業を進めることが大切であると感じた。

#### ② 英語教育講演会「プロフェッショナル田尻悟郎先生の流儀を学ぶ」

＜参加部員からの報告＞

「表現したいという気持ちを高め、相手を意識して言葉を遣うことができるようにする。」という田尻先生の英語授業のあり方は、自分が国語授業で心がけていることと重なっていた。言語を習得するための共通点であると感じた。

#### ③ 示範授業・講演会「コミュニケーション能力を高める英語の授業」

＜参加部員からの報告＞

小学校教員だが、中学校英語の示範授業を見せてもらい、新鮮に感じた。中学校も授業改善に必死で取り組んでいることを強く感じるとともに、小中連携の大切さを改めて感じた。

#### ④ 小学校外国語活動・国際科「生き生きと活動する授業を目指して（応用編・公開授業研修）」

＜参加部員からの報告＞

授業の流れ、活動ともに興味深く、自分でもやってみたいと思う内容だった。自分の授業でも生かせそうな手立てを学ばせてもらった。

#### ⑤ 小学校外国語活動・国際科「生き生きと活動する授業を目指して（基礎編パート2）」

＜参加部員からの報告＞

英語の教科化が目前に迫っているため、モジュール授業を想定したミニ活動はとても参考になった。不安の方が先行し、自分にできるものかと思っていたが、意外にも気楽に取り組めて不安が少し解消した。英語の教科化に向けて、自己研修を重ねていこうと思う。

### (2) 授業実践に向けた夏期研修



南魚沼市のALTを迎え、模擬授業をやりながら、授業に生かせるチャンツやゲームを行った。ちょっとした工夫で活動に変化をもたせ、子どもたちの意欲を引き出したりつなげたりできることを学んだ。部員からは、「今後の授業の中で生かしていこうと思う。」という感想を多く聞いた。

また、これから南魚沼市の国際科授業でも導入を検討しているフォニックスについてALTから紹介してもらい、どのような流れで授業を進めていくのかを学んだ。

## 4 成果と課題

学習指導センターへの研修には昨年よりも多くの参加があった。研修会は、各部員が自分の実践を振り返る場であり、新しい学びを得る場にもなっていた。研修で学んだことを校内で確実に伝達していくことが、職員全体の授業力アップにつながるの、大切にしていかなければならない。

夏期研修では、授業実践につながる研修と、今後の外国語活動の流れを学んだ。小学校英語の教科化に向けて、先を見通した研修が緊急の課題であると感じた。